

平成29年度 課の事業一覧

組織名	広報室 広報課		重点項目	・広報紙、市政テレビ・ラジオ、ホームページなどの広報媒体を活用し、市の施策やイベントなどの情報を周知・PRする。				
	課長名	猪本 由美子		コスト	事業費	平成29年度当初予算額(A)	388,876 千円	人件費
平成28年度当初予算額(B)			356,520 千円			係長 3 人		
増減額(A-B)					32,356 千円	101,500 千円		職員 8 人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度当初予算額(千円)	平成29年度当初予算額(千円)	当初予算の増減額(千円)	
1				市政だより発行事務	市政だよりの発行・配送事務	様々な広報媒体を活用した市政情報の広報	市の重要施策やイベント情報などの市政情報を、市民に伝える必要があるが、世代等によって情報を入手するための広報媒体は様々であり、対象等を考慮し媒体を工夫する必要がある。	現在も、様々な広報媒体を活用し市政情報を発信しているが、新たな媒体(SNS・YouTubeなど)も積極的に活用し、市民サービスの向上に努める。	113,834	113,486	-348	
2				刊行物発行事務	市勢概要などの刊行物発行事務				4,905	5,253	348	
3				市政テレビ等による広報	テレビ・ラジオ等のマスメディアを利用して、市の施策・事業をPRする。				11,538	11,538	0	
4				地域密着広報事業	本市に密着した情報を提供している電波媒体を活用し、市の施策などの周知・理解を促す。				28,150	28,150	0	
5				ホームページを活用した情報発信事業	インターネットを通じて、市の計画や取り組みなど様々な情報を発信する。				16,198	16,198	0	
6				YouTubeを活用した本市の魅力発信事業	動画共有サイト「YouTube」を活用して、本市のブランド等の情報を国内外に広く配信する。				9,526	9,526	0	
7				タウンミーティング開催事業	市と市民との協働によるまちづくりを進めることを目的にタウンミーティングを開催する。				4,500	4,621	121	
8				市政だより発行事務(債務負担分)	市政だよりの編集業務委託				20,088	20,934	846	
9				市政テレビ等による広報(債務負担分)	テレビを利用して、市の施策・事業をPRする。				78,063	80,456	2,393	
10		○		<新>ホームページ管理システム更新事業(債務負担分)	市公式ホームページ管理システム機器のリース経費						3,493	3,493
11				重要施策PR事業	市の重要施策の広告を掲出し、市民等へのPRを図る。				44,100	43,680	-420	
12		○		<新>広報活動調査	広報室が実施している各種の広報活動に関する市民の意識、実態の調査(3年に1度実施)						2,350	2,350

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度 当初予算額 (千円)	平成29年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
13		○		<新>ホームページ管理システム追加事業	市公式ホームページ管理システムに外国語翻訳機能を追加	様々な広報媒体を活用した市政情報の広報	市の重要施策やイベント情報などの市政情報を、市民に伝える必要があるが、世代等によって情報を入手するための広報媒体は様々であり、対象等を考慮し媒体を工夫する必要がある。	現在も、様々な広報媒体を活用し市政情報を発信しているが、新たな媒体(SNS・YouTubeなど)も積極的に活用し、市民サービスの向上に努める。		650	650
14		○	ホームページ管理システム更新事業	市公式ホームページ管理システム機器更新	16,300					-16,300	
15		○		<新>情報発信強化推進事業	“首都圏をはじめとした市外”へ向けた本市の魅力発信及び“若者層”へ向けた情報発信を、各事業担当部署や東京事務所の連携、民間力の活用及び自主媒体の強化を図ることにより戦略的に展開する。 <新>民間アドバイザーを活用した「(仮称)広報戦略会議」 <新>首都圏メディアへのPR強化事業 <新>幹部職員を対象とした「戦略的広報」研修 <新>北九州シティプロモーション事業 <新>北九州市公式SNSによる情報発信	首都圏における情報発信を強化するため ①重点的広報事業やテーマの選定②メディア露出の最大化 ③都市イメージの刷新・定着を図ることにより、「北九州市に行ってみよう、住んでみたい」と思われる都市になることを目的とする。	首都圏をはじめとした市外へ向けた情報発信は、地方創生に取り組む都市間競争に打ち勝つために力を入れる必要がある。	「広報室の有する自主媒体のさらなる強化」と「市外(特に首都圏)での情報発信強化」が必要である。特に、「市外(特に首都圏)での情報発信強化」については、企画調整局とも協議を重ね、東京事務所での情報発信機能強化や戦略的広報の取り組みについて協議した。		40,000	40,000
16				広報業務管理事務	広報室庶務的経費	その他	—	—	9,241	8,466	-775
17				人権週間行事	人権研修等各種研修参加に要する経費				77	75	-2

平成29年度 課の事業一覧

組織名	広報室 報道課		重点項目	<ul style="list-style-type: none"> ・報道機関を通じて市政情報を発信する。 ・新聞、雑誌、テレビ、インターネット等のマスメディアを通じたPRによる、本市の知名度と都市イメージの向上を図る。 ・都市ブランドを基軸としたシティプロモーションを推進する。 							
課長名	島屋 良一	コスト	事業費	平成29年度当初予算額(A)	44,827 千円	人件費	目安の金額	課長	1	人	
				平成28年度当初予算額(B)	64,827 千円				係長	2	人
				増減額(A-B)	-20,000 千円			69,000 千円	職員	5	人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度 当初予算額 (千円)	平成29年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				メディアトレーニング事業	市幹部の危機管理能力を高め、報道対応能力の向上を図るための新任課長を対象とした研修。	報道機関を通じて市政情報を発信する。	市の事業について、市民の理解を得る最大の効果を挙げるためには、多くの市民に事業の情報を提供する必要がある。	多くの市民に市政情報を発信するためには、報道機関に情報を提供し発信してもらうことが重要であることから、今後も積極的に情報提供・発信を行う。	1,061	1,061	0
2	○			情報発信・取材協力事業	新聞、雑誌、テレビ、インターネット等のマスメディアを通じて本市をPRする。	テレビ番組等のロケ誘致・撮影支援や新聞、雑誌、テレビ、インターネット等のマスメディアを通じたPRによる、本市の知名度と都市イメージの向上を図る。	本市の認知度、イメージを向上させるためには、多くの人に本市の情報に触れてもらうことが重要となるが、特に、情報量の多い首都圏での認知度は低く、本市の魅力が十分に伝えきれていない。	テレビや雑誌等のマスメディアへ積極的に働きかけ情報発信を強化するとともに、観光をはじめとした関連部署との連携を密にし、市として統一感のあるPRに努める。	30,000	30,000	0

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度 当初予算額 (千円)	平成29年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)	
3	○		○	ブランド創造・シティプロモーション事業	美しいまちをコンセプトとした北九州ブランドの浸透を図り、市民のまちへの愛着や自信や誇りを醸成し、まちが一体となったシティプロモーションを展開する。また、北九州ブランドの浸透の担い手として、まちを楽しみながらまちを盛り上げる女性のネットワーク構築に向けた取り組みを推進し、市民のシビックプライドの醸成の一助とする。さらに、北九州市応援団の輪を広げ、クチコミ等を活用した本市のシティプロモーションを行う。				8,366		-8,366	
4	○		○	北九州市ミュージアム構想推進事業	まち全体を屋根のないミュージアムに見立て、市内各地の様々な地域資源を展示品にたとえ、市民の手でこれらを発掘・再発見し、ウェブサイトを「北九州市 時と風の博物館」を通じて情報の共有や補足等を行うことで地域資源を磨き上げ、本市の魅力を効果的に発信する。	市民による投稿サイトや応援団を活用したシティプロモーションを推進する。	(都市ブランドの向上) 本市の魅力が十分に伝わっておらず、実態とイメージには大きなギャップが存在する。 (シビックプライドの醸成) まちへの愛着はあるが、まちに対する自信や誇りにつながっていない市民が多い。	「北九州市が好き」「北九州市が誇り」「北九州市と関わりたい」と思い、自らが北九州市の魅力を発信していく輪を広げ、北九州市への愛着・自信・誇りを高めていくために、 (1)市民自らがまちの魅力を発信するウェブサイト「北九州市 時と風の博物館」を通じて、シビックプライドの向上や地域情報の効果的な浸透を図る。 (2)「北九州市応援団の集い」を通して、本市の魅力を共有し、クチコミ等を活用したシティプロモーションを図る。	5,400		-5,400	
5	○	○		<新>北九州市魅力発信事業	まち全体を屋根のないミュージアムに見立て、市内各地の様々な地域資源を展示品にたとえ、これらを発掘・再発見し、さらに情報の共有や補足等を行うことで、地域資源を磨きあげ、効果的な情報発信を展開する。また、日頃本市政へ協力的な主に市外居住者の方に対し、本市への一層の愛着と誇りを共有し、活動への感謝と今後のさらなる取り組みをお願いする場として「北九州市応援団の集い」を開催する。 ※平成29年度より、「ブランド創造・シティプロモーション事業」(8,366千円)と「北九州市ミュージアム構想推進事業」(5,400千円)を統合し、「北九州市魅力発信事業」(13,766千円)とする。					13,766		13,766
6			○	F1層に届け！北九州シティプロモーション事業	F1層(20～34歳の女性)の利用度が高いサイト等を利用してトレンドやニーズを探るとともに、それぞれの興味にマッチした北九州市の情報を首都圏のF1層に発信する。	首都圏のF1層のニーズに合った情報を効果的に発信し、本市の知名度と都市イメージの向上を図る。	—	—	20,000		-20,000	